

以下のアンケートハガキにご回答いただき、キリトリ線で切り取って、最寄りの郵便ポストへご投函いただけますようお願い申し上げます。



✂ キリトリ線 ✂

郵便はがき

802-8790

料金受取人払郵便

北九州中央
郵便局承認

3068

差出有効期限
平成25年12月
31日まで有効
(切手不要)

北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号
内山第20ビル1F

株式会社ウチャマホールディングス
株主様アンケート係 行



□に ✓ を入れてください

| | | | | |
|-----------|--|--|---|--|
| 性別 | <input type="checkbox"/> 男性 | <input type="checkbox"/> 女性 | | |
| 年齢 | <input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 50代 | <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 60代 | <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 70代 | <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 80歳以上 |
| お住まいの地域 | <input type="checkbox"/> 北海道・東北 <input type="checkbox"/> 中国 | <input type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 四国 | <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 九州 | <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 日本国外 |
| ご職業 | <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 自営業 | <input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 主婦 | <input type="checkbox"/> 官公庁・団体職員 <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 当社株式の保有株数 | <input type="checkbox"/> 100株 <input type="checkbox"/> 1,001~5,000株 | <input type="checkbox"/> 101株~500株 | <input type="checkbox"/> 501株~1,000株 <input type="checkbox"/> 5,001株以上 | |
| 当社株式の保有期間 | <input type="checkbox"/> 上場時から | <input type="checkbox"/> 3ヵ月以上 | <input type="checkbox"/> 3ヵ月未満 | <input type="checkbox"/> 売却済 |

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金
受領株主確定日 3月31日
中間配当金
受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所 大阪証券取引所ジャスダック市場
公告方法 当社HP (<http://www.uchiyama-gr.jp>)
での電子公告により行う。ただし、やむを得ない
事由により電子公告によることができない場
合は、日本経済新聞に掲載して行う。

(注) 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒802-0044
北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号内山第20ビル1F
TEL : 093-551-0002(代表)



株主・投資家の皆様へ

ウチャマ通信

第7期 第2四半期

2012年4月1日から 2012年9月30日まで



ウチャマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS



証券コード 6059

ウチャマホールディングスは、
「日本一の接遇とオペレーション」の追求を通じて
介護・カラオケ・飲食の3事業を核に、
着実な全国展開化を推し進めております。



ウチャマグループ 基本理念

慈愛の心
尊厳を守る
お客様第一主義

ウチャマグループ スローガン

幼青老の共生
幼年～青年～老年、共に楽しく過ご
せるような社会作りを目指します。
「日本一の接遇とオペレーション」を目指す

「介護事業」、「カラオケ事業」、「飲食事業」を3本柱として展開しております。

当社は、1971年に「不動産事業」を営む株式会社内山ビルを設立し、その後、「カラオケ事業」や「飲食事業」、「介護事業」へと事業領域を拡大して参りました。現在、「不動産事業」は「その他事業」の一部として展開しており、「介護事業」、「カラオケ事業」、「飲食事業」を3本柱と位置づけて、さらなる業容の拡大に取り組んでおります。

ウチャマグループ独自の思想に基づいた3事業の全国化を推し進めております。

当社グループは、食材の共同仕入れや介護施設での食事提供など主力3事業のシナジーを追求しながら、九州地区を中心に施設や店舗の開設を行ってきましたが、これを基礎に現在、事業の全国化を推し進めております。また、全国化においては、地域の雇用創出や地域との交流など“地産・地消・地役(ちえき)”の思想を重視しております。



例えば
介護事業
では

入居者様の“生きがいづくり”とご家族の“安心”を基本に
地域に必要とされる施設づくりに努めています。



活力朝礼

介護事業では、社会貢献の視点が原点にあるからこそ、当社グループのほとんどの施設では「入居一時金0円」の経営体制を敷いております。また、運営面では、「慈愛の心」「尊厳を守る」という基本理念のもと“生きがい作り”を基本とし、入居者様に生きがいを



畑作り



ケータリングサービス



地域との交流・ボランティア活動



見学者のご案内

感じて頂ける場の提供を大切にしております。入居者様やそのご家族に安心して頂ける住まいを提供し、地域に必要とされる施設であり続けるための日々の努力により、当社グループの介護施設の入居率は非常に高い水準にあります。

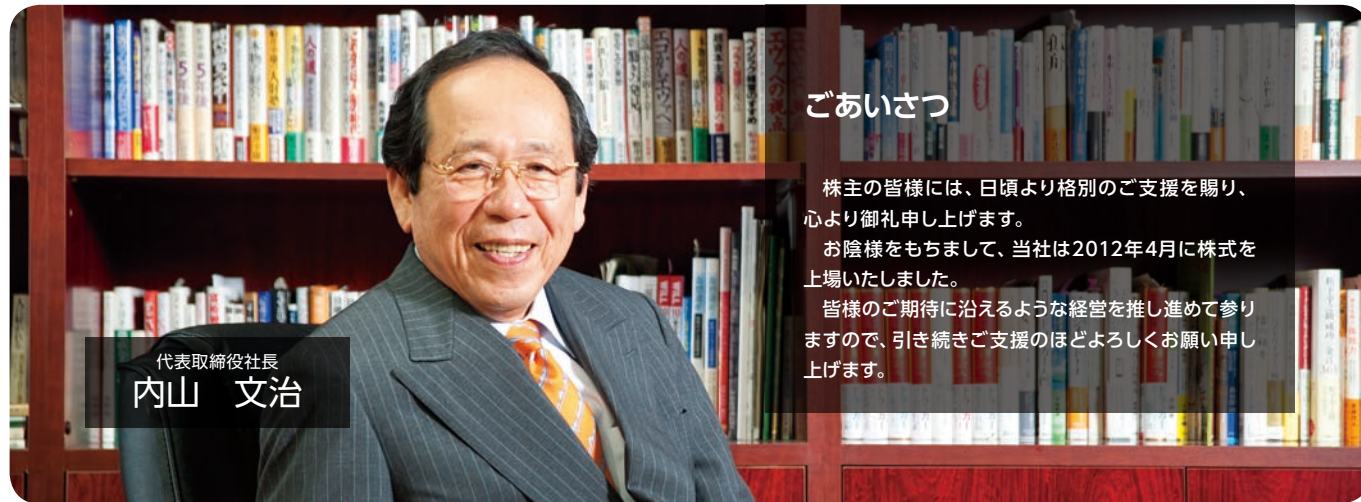
介護事業を運営する当社連結子会社
「株式会社さわやか倶楽部」

船井総合研究所の『第3回グレートカンパニーアワード』(2012年)で
最高賞「グレートカンパニー大賞」を受賞

グレートカンパニーとは、社会的価値の高い「理念」のもと、その「企業らしさ」を感じさせる独特のビジネスモデルを磨き上げ、その結果、持続的成長を続ける会社と定義されています。お陰様で今回のさわやか倶楽部の受賞においては、「高齢者の方に、生きがいや社会への貢献といった真の顧客満足を追求める姿勢」が評価されました。

右の写真は毎月催される社員の誕生日会の1シーンです。重要な社内行事と位置づけて社長が必ず出席しています。社員とその家族だけでなく入居者様も参加する盛大な催しになっており、この独特の文化も今回の受賞理由の一つとなっています。





代表取締役社長
内山 文治

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
お陰様をもちまして、当社は2012年4月に株式を上場いたしました。
皆様のご期待に沿えるような経営を推し進めて参りますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



まず、これまでの貴社の歩み、その過程で獲得してきた強みや独自性などをお教えてください。

「人間力」を基礎に、“お客様に愛される”施設・店舗であり続けたいと考えております。

私が社会に出たのは、1961年、二十歳で家業の米屋を継いだ時でした。お客様第一主義の理念はこの頃の経験から培って参りました。その後、1971年に株式会社を設立し、現在の主力3事業（介護・カラオケ・飲食）を育成、拡大して参りました。

そのうち最も遅いスタートとなった「介護事業」は、私が長年温めてきた思いを実現させたものです。実は子どもの頃、“医者になって世の中の役に立ちたい”という夢がありました。米屋の時代には配達先で、体の不自由な高齢の方が不便な生活状態にあるのをたびたび目の当たりにしていました。そのたびに、“医者の資格はなくても、高齢者に対する福祉ならできるはずだ”という思いを募らせておりました。

そして、1998年に個人財産約2億円を寄付して社会福祉法人八

健会を設立、また、2000年に社会福祉法人さわやか会の理事長に請われて就任したことなどを契機に、2003年より当社として介護事業に本格的に取り組むことを決定し、介護施設の開所・運営を開始いたしました。

2006年からは戦略的かつ効率的な事業運営を目指して持株会社体制に移行し、現在に至っております。

強みとしては、事業間シナジーの高さに加えて、「人間力」の高さを強調したいと思います。当社グループでは主力3事業を中心とする全てのスタッフが“おもてなしの心”をもって入居者様やお客様に接することができるよう、独自の人材育成システムを開発・運用しております。「人間力」を基礎に、当社グループは“お客様から愛される”施設や店舗であり続けたいと考えております。



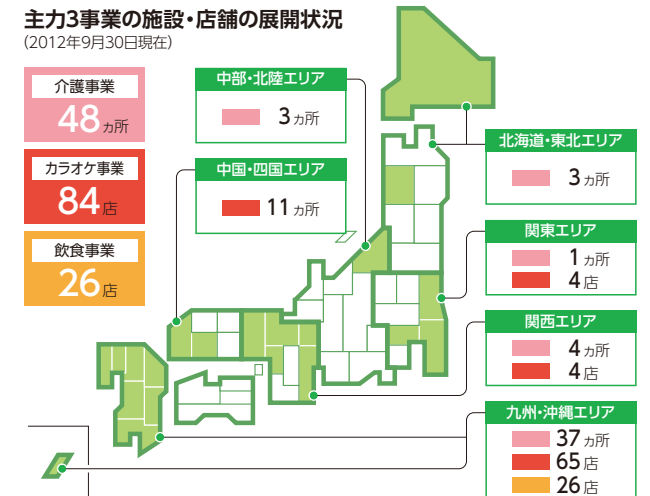
当上半期の業績、成果はいかがですか？

既存施設・店舗の健闘と新規開設による効果から、増収増益となりました。

当上半期の連結業績は、売上高が前年同期比13.4%増の95億79百万円、営業利益が同10.0%増の9億24百万円となりました。増収および営業増益となった主な要因は、既存の施設や店舗が前年同期を上回る実績となったことに加え、新規開設した施設や店舗が売上および利益に貢献したことによります。

既存の施設や店舗については、介護施設の入居率が93.5%と当上半期も高水準を維持し、カラオケ店、飲食店の上半期売上高の前年同期比はそれぞれ107.2%、102.6%と好調に推移しました。新規開設については、介護施設が3ヶ所で新たに開所し、また、カラオケ店が4店舗増加、飲食店が1店舗のリニューアルとなっております。この結果、2012年9月末現在、介護施設は48ヶ所、カラオケ店は84店舗、飲食店は各種業態合計26店舗となりました。介護施設とカラオケ店では、九州エリアのほか、西日本・東日本エリアでの開所・出店も行い、全国化が着実に進んでおります。

主力3事業の施設・店舗の展開状況
(2012年9月30日現在)



今後のビジョン、中長期的な経営の方向性をお聞かせください。

“地産・地消・地役（ちえき）”の精神で、事業の全国化を推し進めて参ります。

前述の通り当社は、「人間力」を基礎とした経営を推し進めております。私どもは、主力3事業の展開において『お客様第一主義』を貫くことが入居者様やお客様との共存共栄につながり、そのためには入居者様やお客様に対応する社員の「人間力」の向上が不可欠であると考えております。

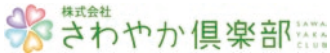
入居者様やお客様のご満足を最大化することや、人材を育てることとは、一定の労力と時間を要することであり、一見すればコスト高につながるようにも見えます。しかし、あえてそこに注力することがお

客様の喜びと当社グループの信頼を増し、結果として入居率や来店客数の拡大、ひいては収益の拡大に結び付くものと考えております。

今後はますます、CSRへの貢献度が評価される時代になっていくものと確信しております。当社グループは、この確信のもと、“地産・地消・地役”の精神で事業の全国化を推し進めて参ります。今後のウチヤマグループにご期待いただきますようお願い申し上げます。

介護事業

Nursing care Business



売上構成比



44.3%

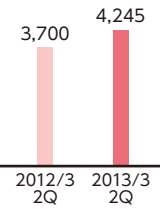
介護等が必要な高齢者を対象に、主に介護保険法に基づく各種サービスを提供。有料老人ホーム等の入居型施設を中心に拠点を展開し、地域の特性に合わせてグループホーム、ショートステイ、ヘルパーステーション、ケアプランセンター、デイサービスセンターなどを併設。



介護付有料老人ホーム「さわやかすずめのみや」

既存施設では近隣施設や地域住民との連携・交流を図るとともに、「ヘルパーステーションめぐり」(福岡県)、「さわやかゆう輝の里」(千葉県)を新規開設し、当第2四半期末の営業拠点は48カ所95事業所となりました。この結果、同事業の売上高は42億45百万円、セグメント利益は5億円となりました。

売上高の推移(百万円)



カラオケ事業

Karaoke Business



売上構成比



42.2%

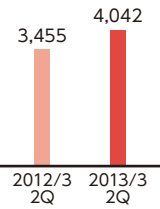
「コロケ倶楽部」の屋号でカラオケボックスを運営。24時間営業の店が大半を占め、年中無休。飲食サービスを提供にも注力。



レストラン&カラオケ「コロケ倶楽部北谷店」

飲食メニューの充実、店頭販促の強化、「さわやかゴールドメンバーカード」(65歳以上向け)の新規導入などにより集客増加に努めると共に、当上半期は新たに3店舗を出店し、当第2四半期末の店舗数は84店舗となりました。この結果、売上高は40億42百万円、セグメント利益は7億17百万円となりました。

売上高の推移(百万円)



飲食事業

Food Service Business

売上構成比



10.8%

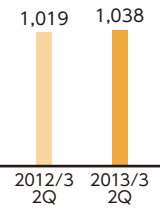
主に居酒屋店舗等の運営を、九州各県を対象に展開。コンセプトの異なる複数の業態により、幅広い顧客層に対応。サラリーマン層を主な対象とした「かんできや」、女性層を主な対象とした「Susu」、低価格志向のお客様に対応した「再生酒場」など、現在12業態を展開。



和食酒家「うるちや」

「女子会」での割引サービスの実施、メニュー充実等によるリピート率向上など、既存店舗の集客増加に注力すると共に、従業員のサービスレベル向上に努めました。この結果、売上高は10億38百万円、セグメント利益は1億15百万円となりました。また、当第2四半期末の店舗数は26店舗となりました。

売上高の推移(百万円)



その他事業

Other Business

売上構成比



2.7%

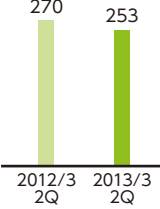
大分県別府市にてホテル2ヶ所を運営(ともに、住宅型有料老人ホームとの併設)。一般客に加え、当社グループの介護施設のレクリエーションにも利用。その他に、不動産事業(賃貸マンションの賃貸・管理業務と不動産物件の仲介業務)、通信事業(携帯電話販売店1店舗の運営)を展開。



さわやかハートピア明暮(別府)

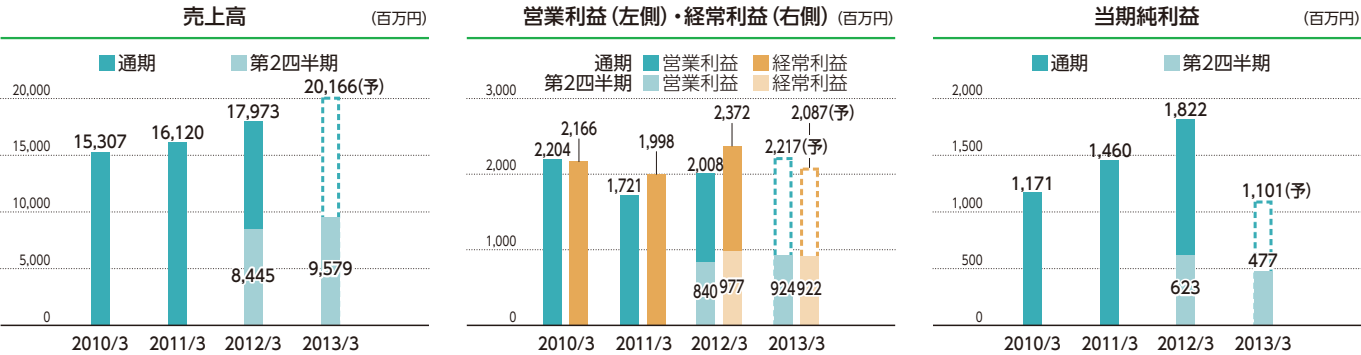
ホテル事業では、夏季休暇期間を中心に宿泊客の増加を図ったほか、長期滞在の方には、温泉療法を目的とした湯治プランをお勧めするなどしました。不動産事業では、賃貸マンションの管理業務などを中心に行っております。この結果、売上高は2億53百万円、セグメント利益は26百万円となりました。

売上高の推移(百万円)



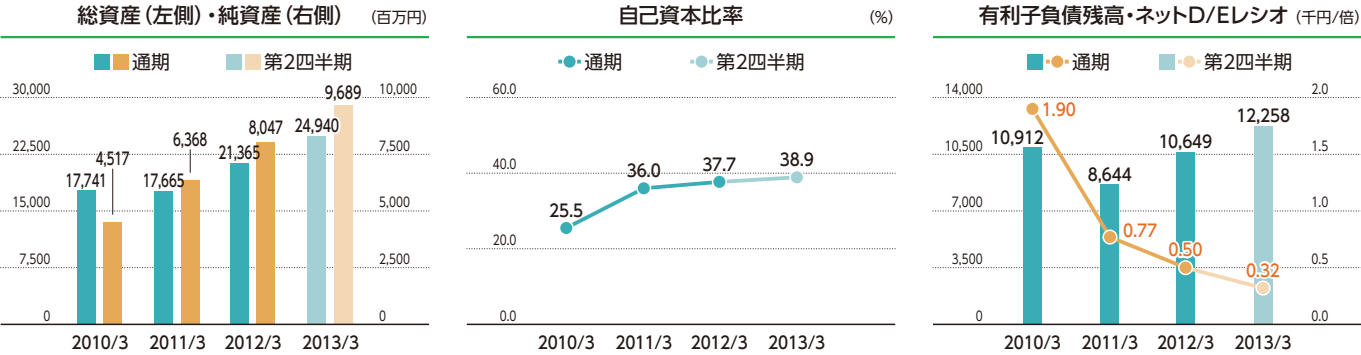
2013年3月期 上半期 連結決算のご報告

収 益 の 状 況



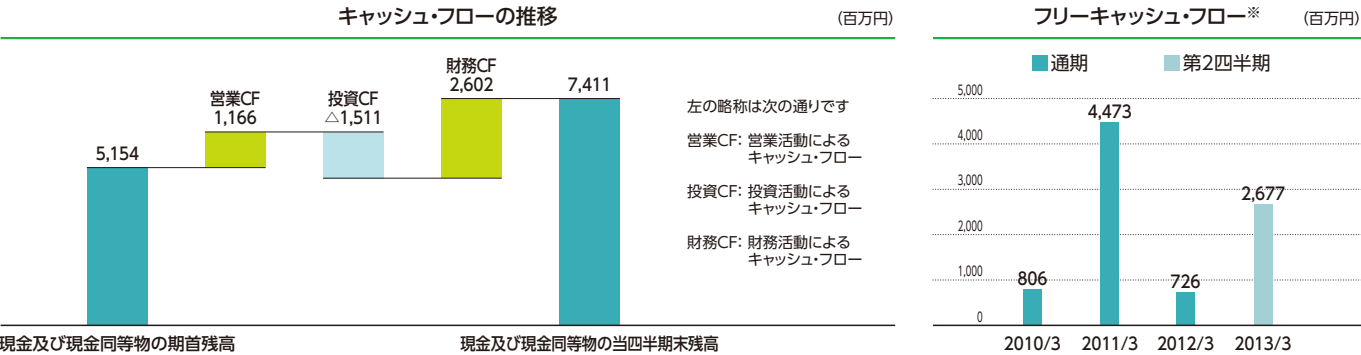
景気が先行き不透明な状況で推移するなか、7月の九州北部地方での集中豪雨による大きな被害の発生、7～8月のロンドンオリンピック開催への関心の高まりなどが集客面に影響を及ぼすことが懸念されました。こうした環境下、当社グループは各事業において課題の抽出と対策を積極的に行うとともに、経費の見直しなどによるコスト削減にも努めました。この結果、当上半期の連結業績は、売上高95億79百万円、営業利益9億24百万円、経常利益9億22百万円、四半期純利益4億77百万円となりました。

財 務 状 態



総資産は、現金及び預金の増加、新規の施設及び店舗の開設に伴う建物及び構築物の増加などにより、前期末比35億75百万円増の249億40百万円となりました。純資産は、株式上場に伴う資本金及び資本剰余金の増加などにより同16億42百万円増の96億89百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は同1.2ポイント向上し38.9%となりました。なお、有利子負債残高は、前期末比17億54百万円増の106億93百万円、ネットD/Eレシオは前期末比0.18ポイント改善し0.32倍となりました。

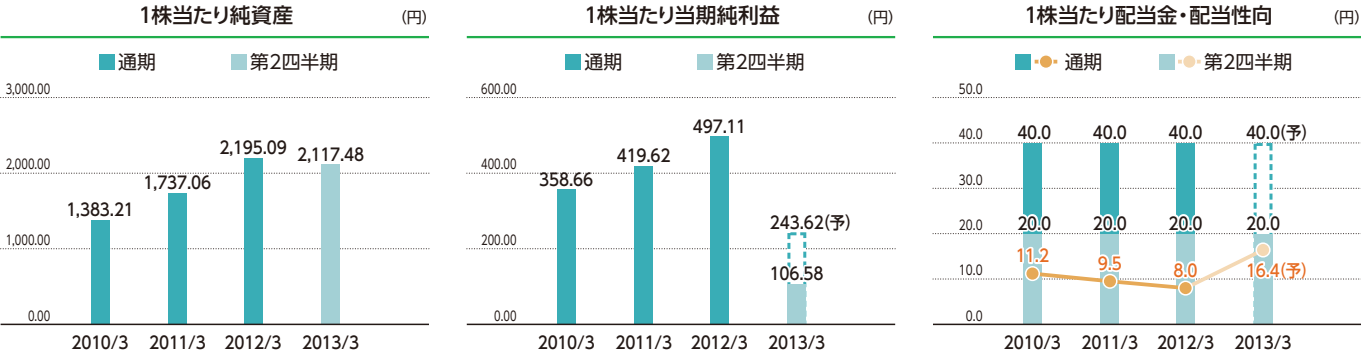
キャッシュ・フローの状況



税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上などにより営業CFが11億66百万円の収入、有形固定資産の取得(新規の施設・店舗)や定期預金の預入などにより投資CFが15億11百万円の支出、借入金の返済や配当金の支払の一方で長期借入れ、株式発行などによる収入があり財務CFが26億2百万円の収入となりました。この結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高に比べ22億57百万円増の74億11百万円となりました。

※フリーキャッシュ・フロー＝営業CF＋投資CF

1株当たり指標と株主の皆様への利益還元方針



当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、安定配当の継続に努めております。当社は、2011年12月7日に1:5の株式分割を行っており、遡及修正後の金額で比較しますと、当第2四半期末の配当金は、前年同期の実績と同様の1株当たり20円にて実施させていただきました。

また、期末の配当金は20円(年間配当金40円)を計画しており、これも前期実績と同様です。なお、通期ベースで配当性向は16.4%となる見込みです。

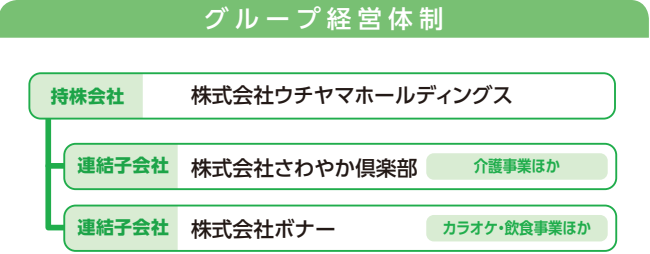
(注) 2010/3、2011/3は、すべて2011年12月7日付けの株式分割(1:5)に伴う遡及修正値。

| 株 式 の 状 況 | |
|-----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 14,600,000株 |
| 発行済株式総数 | 4,576,200株 |
| 株主数 | 1,581名 |



| 大 株 主 | | |
|---|-----------|---------|
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
| 内山文治 | 2,302,505 | 50.31 |
| 内山孝子 | 216,480 | 4.73 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 146,900 | 3.21 |
| ウチヤマホールディングス従業員持株会 | 129,600 | 2.83 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 120,800 | 2.63 |
| ジャフコ・スーパーV3共有投資事業有限責任組合 無限責任組合理 株式会社ジャフコ | 98,500 | 2.15 |
| 株式会社エクシング | 76,200 | 1.66 |
| 株式会社第一興商 | 70,000 | 1.52 |
| 株式会社SBI証券 | 62,300 | 1.36 |
| NOMURA PB NOMINIEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASH PB) | 55,800 | 1.21 |

| 会 社 概 要 | |
|---------------|--------------------------------------|
| 商 号 | 株式会社ウチヤマホールディングス |
| 設 立 | 2006(平成18)年10月2日 |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 内山 文治 |
| 資 本 金 | 7億2,560万円 |
| 従 業 員 数 | 連結 3,546名 |
| 事 業 内 容 | 持株会社としてグループ会社の経営管理 グループ全体の経営戦略の立案 |
| 連 結 子 会 社 | ● 株式会社さわやか倶楽部 ● 株式会社ボナー |
| 上 場 取 引 所 | 大阪証券取引所 ジャスダック市場 |
| (証 券 コ ー ド) | (6059) |



| 役 員 | |
|-----------|--------|
| 代表取締役社長 | 内山 文治 |
| 専 務 取 締 役 | 生嶋 伸一 |
| 専 務 取 締 役 | 竹村 義明 |
| 専 務 取 締 役 | 歌野 繁美 |
| 専 務 取 締 役 | 山本 武博 |
| 取 締 役 | 吉岡 信之 |
| 取 締 役 | 川村 謙二 |
| 取 締 役 | 二村 浩司 |
| 監 査 役 | 富山 誠 |
| 社 外 監 査 役 | 矢田 逸夫 |
| 社 外 監 査 役 | 住川 守 |
| 社 外 監 査 役 | 岸本 進一郎 |

株主優待制度を 新設しました

当社は株式上場を機に、株主優待制度を導入いたしました。株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、さらには当社グループへのご理解をより深めていただきたく、ホテル、カラオケ店、居酒屋でご利用できる優待券を贈呈させていた
できます。

ご優待内容

ご所有株式100株以上で
優待券5,000円分

1,000円
× 5枚

(株)さわやか倶楽部運営の「ホテルさわやかハートピア明礬」、
「ホテルさわやか別府の里」ならびに(株)ボナー運営のカラオケ
店舗及び居酒屋店舗で利用可

ホテル宿泊
1回利用
1人当たり
1,000円×5枚
まで

カラオケ店舗及び
居酒屋店舗1回利用
1組当たり
1,000円×2枚
まで使用可

株主ご優待券

実施開始時期

2013年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された
1単元(100株)以上を保有されている株主様より実施いたします。

株主アンケートのお願い

この度、第1回目となる株主アンケートを実施させていただきます。株主の皆様よりお声を頂戴し、今後のIR活動や経営に活か
してまいりたいと考えております。以下のアンケートハガキにご
回答いただき、キリトリ線で切り取って、最寄りの郵便ポストへ
ご投函いただきますようお願い申し上げます。

アンケートのお願い

Q1 当社株式をご保有いただいている理由は何ですか(複数回答可)

☐ 将来有望な市場・業界

☐ 企業としての高い成長性期待

☐ 経営陣への期待

☐ 新聞・雑誌等での注目度の高さ

☐ (元)従業員だから

☐ 証券マン等に勧められたから

☐ その他()

Q2 当社株式ご保有について、今後のお考えと理由を教えてください

☐ 買い増ししたい

☐ 当面保有したい

☐ 手放したい

(理由:)

Q3 今後当社に期待することは何ですか?

☐ 積極的な施設・店舗展開

☐ 業績の拡大

☐ 財務体質の健全性確保

☐ 安定的な配当

☐ 株主優待の充実

☐ 積極的な事業領域の拡大

☐ その他()

Q4 今回の株主通信で、どの記事に興味を持たれましたか?(複数回答可)

☐ ウチヤマHDの紹介(P1-2)

☐ トップ・インタビュー

☐ 事業の紹介と当上半期の営業の概況

☐ 当上半期 連結決算のご報告

☐ 株式情報／会社情報

☐ 株主優待制度について

☐ 株主メモ

Q5 当社グループの介護施設またはカラオケ・居酒屋店舗をご利用になら
れたことはありますか?(ご家族を含む)

☐ ある 施設名・店舗名()

☐ ない

Q6 [Q5で「ある」とご回答された方]ご感想をお聞かせください

☐ よかった

☐ どちらかといえばよかった

☐ 普通

☐ あまりよくない

☐ よくない

(理由:)

Q7 当社に対するご意見・ご要望などをご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。